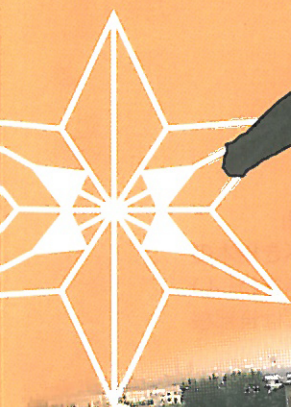


六稜会報



INDEX

同窓会館への道
菅 正徳2

校舎改築カレンダー
編集部3

『六稜会報』と六稜WEB
岸田知子4

男女共学とはじめ
栗石誠吉5

●新制高校 男女共学50周年【特集】
北野高校、誕生のころ
男女共学はこうして導入された8
北野にきた女生徒たち
座談会9

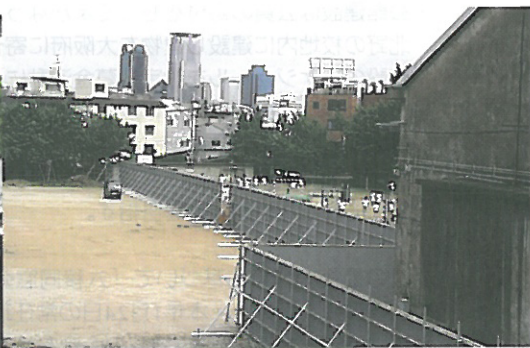
会務報告+会計報告16

PARTY REPORTS18
124周年総会、東京六稜会41回総会、
六稜ゴルフの集い

母校の窓19
姉妹校提携、国際交流基金、全国大会
出場等奨励金、職員異動、文化活動振
興費職員異動、文化祭記念講演、クラ
ブだより

大学合格者数一覧23

●六稜WEBインテックス
恩師を訪ねて7
われら六稜人14
わがまち大阪とともに15
六稜NEWS17



NO.32
1998.9.15

ついに始まった校舎改築…
速報はホームページで!!

<http://www.rikuryo.or.jp/kaichiku.html>

(See.→ p.3)

同窓会館への道

六稜同窓会館機能検討委員会

菅 正徳(69期)

120周年が終わったところで「次は同窓会館を」が六稜同窓会の大きなテーマになりました。学舎が改築されることになり、昭和6年に十三校舎新築と同時に建設された同窓会館（旧図書館…後に同窓会事務局が所在。近年はクラブの合宿所や吹奏楽部の練習場などとして利用されていた）も、この6月に取り壊されました。同窓会としては平成15年に新校舎がその新しい姿を見せる時に合わせて会館の建設を考えています。丁度、創立130周年の時でもあります。

そのために同窓会では検討を続け平成8年2月に「建設準備委員会」を発足させました。その後5回の会議を持ちました結果、以下の基本的な合意事項に到達いたしました。

- ・会館建設は会員の寄付をもってまかなう。
- ・北野の校地内に建設し建物を大阪府に寄付する。
- ・建設のスケジュールを設定し募金活動に入る。
- ・設計は校舎の設計原案を作成した竹山聖氏(85期)に委嘱する。
- ・六稜文化の発信基地としての機能を持ち、かつ地域に開かれた会館造りを目指す。

この最後の合意に基づいて「六稜同窓会館機能検討委員会」が発足。本年1月24日の常任理事会で承認されました。これまで2回の会合を持ち、コンセプト作りの論議を続け、かつ、次の小委員会を設置して実際の活動を開始しました。

●植栽小委員会 委員長：小寺範生(69期)

北野の植栽の現状を調査し、保存すべき樹木の選定と手入れを行い新校舎と新会館にふさわしいグリーンプランを策定します。5月4日には笹部桜と野田藤の手入れを行いました。

●校舎改築記録小委員会 委員長：竹山 聖(85期)

WEB運営委員会を中心にすでに記録委員会の活動は始まっています。去る6月7日の北野文化祭でも写真部との共同作業で旧校舎の記録展示を行い今後様々の機会をとらえて公開し、最後にこの「記録出版」も考えています。

●六稜文書総目録作成小委員会、同デジタル化小委員会の設置

北野には中等教育の歴史に貴重な大量の資料、文書があります。これらの整理保存は喫緊の課題であります。今後広く会員からこの作業にかかわって下さる方を募集します。整理とともに公開、研究発表などの場が会館機能に付帯するような運営組織をつくって行きます。

この「機能検討委員会」はこれからも会館のソフト面について様々な角度から検討を続けます。会員の皆さんの御意見は可能な限り反映させて頂くつもりです。

■六稜会館建設準備委員会

委員長 山本次郎(62期・同窓会副会長)

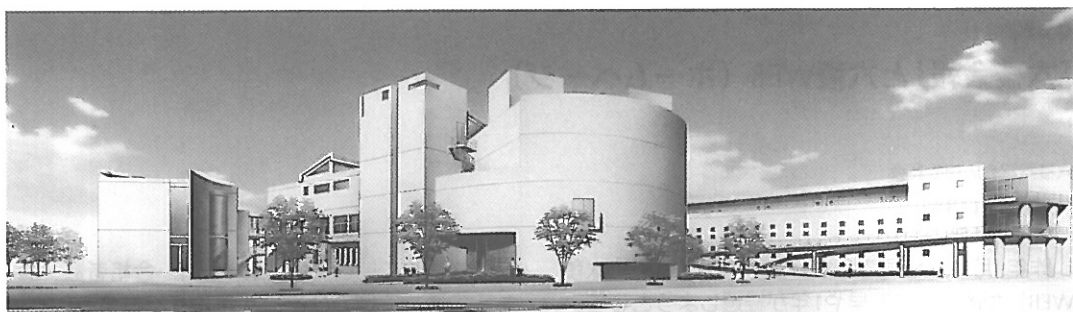
委員 大山利雄(56期)、尼崎孝雄(58期)、内藤壽一(61期)、榊田圭兒(62期)、脇田 修(62期)、岩木 俊(63期)、山元一夫(64期)、小出 猛(66期)、丸野豊子(66期)、神宅寿昭(67期)、菅 正徳(69期)、北浦康弘(71期)、南 尚三(72期)、石田雅明(73期)、岸田知子(78期)、寺井あかね(81期)、竹山 聖(85期)
秋田典昭(校長)、浦谷正美(教頭)、福井克次(事務部長)、鎌田俊一(81期)

■六稜会館機能検討委員会

委員長 脇田 修(62期・大阪大学名誉教授、帝塚山学院院长)

委員 中江要介(53期)、丸野豊子(66期)、木戸 湊(72期)、梶本興亜(73期)、和太守卑良(74期)、岸田知子(78期)、鎌田俊一(81期)、竹山 聖(85期)、谷 卓司(98期)、柏尾洋介(旧職員)

事務局 菅 正徳(69期)、寺井あかね(81期)



※第1期工事の完成予想図。

●母校はいま…

校舎改築カレンダー

※改築の速報を六稜WEBでお伝えしています。

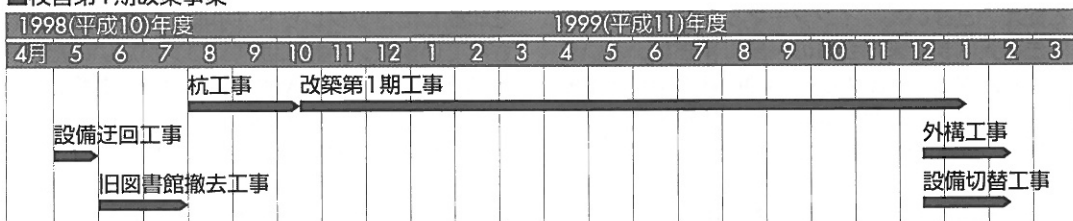
<http://www.rikuryo.or.jp/kaichiku.html>

震災の影響や府の予算の関係で延び延びになっていた校舎改築事業が、この春ついに始まった。5月27日の校内球技大会の終了を待ってグラウンドの大半はフェンスで囲われ、登下校の生徒の安全やその他の工事の都合上、通用門（十三公園に面した北門）が閉鎖され通行禁止となった。

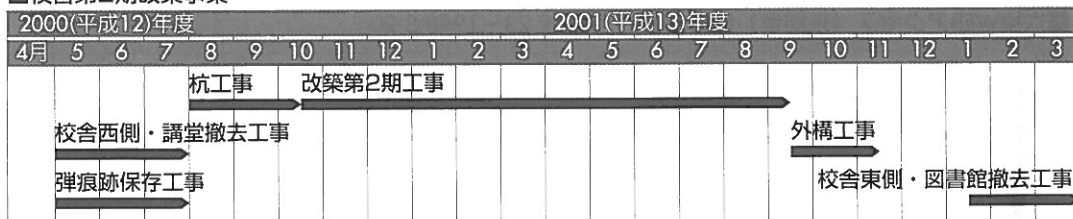
6月の中旬にはバレーコート前の旧図書館（＝旧同窓会館…かつての同窓会事務局はココにあった）が解体され、野球部のバックネットからテニスコートまでが跡形も無く消失した（表紙、カラー写真参照）。現在、校庭の北側一帯は、信じられないことに！（本当は当然のことなのであるが、心情的にはアンビリーバブル!!）まっさらな更地状態となっている。

ここに、上掲のような新校舎の半容が姿を現すのは来年の年末頃のこと。そして平成12年には、激動の昭和史を生き抜いた旧校舎の解体が、いよいよ始まるのである。甲子園の砂ならぬ北野の壁タイルを、思い出のしるしに入手することはできるのであろうか。気になるところである。

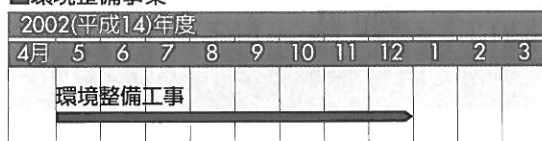
■校舎第1期改築事業



■校舎第2期改築事業



■環境整備事業



※本スケジュールは、第1期改築工事の時点における予定です。なお、この期間中は(北側)通用門からの出入りができません。(南側)正門へお回りください。

『六稜会報』と六稜WEB（ホームページ）

六稜同窓会広報委員会

岸田知子(78期)

昨年9月に六稜同窓会ホームページ（略称：六稜WEB）が開設されて早や1年が経過しようとしています。Web-gine【ウェブジン】（＝インターネット上の月刊誌）として毎月新しい読み物に加え、すでに総ページ数は800を超え、アクセス数（六稜WEBを見に訪れた人数）も延べ30,000人に迫る勢いで増加しています。これは、毎日約100人前後の読者が六稜WEBを訪れている勘定になります。

六稜WEBは同窓会員有志の自発的参加による「六稜WEB運営委員会」によって企画運営されています。これは六稜同窓会の広報活動の一環として位置づけられていて、今年度からは予算上もWEB運営費と会報発行費は一体化して「広報費」として計上されることになりました。

したがって今後、六稜同窓会では「会報」と「WEB」という2つの異なる広報媒体を、それぞれの特性を活かした形で、さまざまな情報を公表していく手段として活用していく方針です。

速報性に優れ「紙面の制約」（文字数や刷色など）の心配の無いWEBを日常的な情報伝達の手段として捉え…とはいえ、インターネットを見ることのできる人はまだまだ会員の一部にすぎないという現実も直視して、膨大なWEBの内容の中から重要な情報の最大公約数を厳選して「会報」という従来からの紙媒体へ転載していくことにします。

またWEBについては不特定多数の視聴者を許す媒体であることから、住所や電話番号といった個人性の高い情報は原則として掲載しないポリシー

で運営されています。「各大学別・合格者数一覧」もその最たる例のひとつと言えるでしょう。とはいえそれらの情報は、関係者にとっては恒例の待ち遠しい指標であることも事実です。この時、部数限定の印刷物で、会員以外には送付されない「会報」という媒体性が生きてきます。

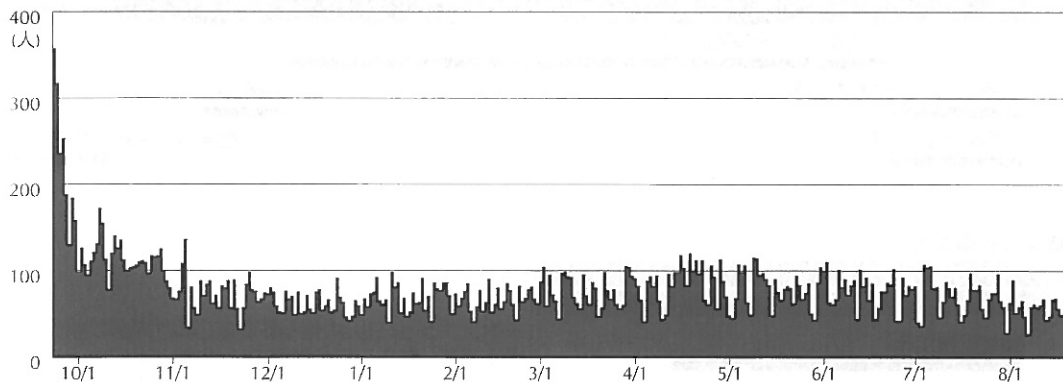
編集部では、こうした媒体特性を勘案しながら、あるものはWEBのみの掲載で、あるものは会報のみの掲載で、またあるものは両方に掲載…という具合に立体的な紙面構成を考えて行きたいと思えます。

さらに「インターネットはできないがパソコンならある…」という人や「アクセスしてみたが、内容が膨大すぎて（電話代金が気になって）じっくり目を通すことができない…」といったご要望にこたえるために、新聞の『縮刷版』にも相当するCD-ROMを製作。その一年間に発信されたコンテンツの全容を毎年まとめて出版して参ります。

これがあれば、いつでも、どのパソコンでも、過去の六稜WEBの全文にゆっくり目を通すことができます。なお、このCD-ROMには主な読みものを印刷したブックレット（小冊子）が付録で添付されています。手許にはパソコンがないのだが…という方にも、六稜WEBのエッセンスを愉しんでいただけるものと思えます。

CD-ROM『六稜WEB-1998』は1セット1,500円（送料込み）にて頒布いたします。同封の振替用紙にて代金をご送付のうえお申し込みくださるか、10月の総会の受付で直接ご購入ください。

■六稜WEBアクセス（来訪者）数の推移 1997.9.23～1998.8.20



※ほぼ、毎日100人前後の来訪者がある六稜WEB。まだご覧でない方は同窓会事務局でご覧になれます。

男女共学ことはじめ

零石 鉦吉

【しずくいし こうきち】明治43年、東京市生まれ。八高、東大文学部卒。昭和23年に大手前との「交流」によって本校に着任。引率された女学生の守り神的存在となる。昭和41年までご在職。



最初の勤めは石巻中学…宮城県の北上川の河口にあたる石巻市の中学校でした。東大出なんて初めてでしたから…もう、モテモテ大変でしたヨ（笑）。「嫁に貰ってくれ」というのが3人はいたかな。校長の娘にも惚れられてね…断るのに難儀したよ。可愛い娘だったけど、背が低くてね。150cm無かったと思う。どっちにしろ…こっちはスラッとしたのが好きでしたからね（笑）。

そんな石巻に3年くらいいて…大阪に出て来たのが昭和13年。英語の教師をしていた親父が旧制浪速高校の校長でしたから、それで…空いた時にスグ呼ばれたというワケなんです。当時、浪高は7年間一貫教育で…尋常科というのが中学に該当しました。北野と同じように入学試験があったんだけど、府立のほうは一斉にやるでしょ。浪高は一校だけでやるもんだから、もの凄く難しくてね。10数倍の難関で…。サントリーの佐治さんとか、名家の子弟が多かったですよ。

そんな浪高の尋常科が新制に変わって無くなりまして、昭和22年に大手前に行きました。そして、翌23年に新制高校の発足とともに北野に転属となったわけです。通勤に楽なように、ということでしょうか「土佐堀川より北は北野に行け」ということになって…。例外もあったかも知れんけど、原則としてはそうだった。生徒もそうして男子と女子を半々に混ぜたでしょ。

最高責任者は長谷川寛治先生。パチンさん。歳から言えば高岡という…家庭科の女の先生が一番年寄りだったけどね。しかし、やはり北野の先生達との交渉事は…長谷川先生が先頭でね、やったんです。ところが…何しろ大手前は女学校だからね。優しさというか…その点、北野は男子校だったから荒っぽかったね。女の先生なんか…何人くらい逃げ出したかな。一年間は泣きながら我慢されてたけれどね。

当時、校長は浜田という先生で府の学務課長と兼任しておられた。それで、あんまり顔を出されないものだから、例のカレヤンと言われる鈴木教

頭がほとんど現場を取り仕切っておったんです。われわれはちょうどそこへ、新しい顔ぶれとして十何人か…大手前からやってきたワケです。

このカレヤンの他に水鳥先生とか原先生といった…いわゆる古顔で弁も立つ重鎮が、北野の変革をできるだけ現状維持の方向で…いわば、大手前の連中にモノを言わさんように…押さえておられましたね。われわれも古い人にはとっても頭が上がりなくって、全然歯が立たない。まあ、しょうが無いですわ。何て言うか…一方は、前からいる「家つきの連中」ですわな。こっちは「嫁に来た連中」ですから。どうしたって、そこがうまく行くハズがない。そこに林先生が校長として来られた。われわれは諸手を上げて歓迎しましたよ。

大手前で、日陰者で…冷や飯を喰っているような連中には、何か太陽みたいな印象でした。その林校長が、大手前—北野の壁を融和させるように持って行った…そういう意味で非常に良かった。初代の高校校長として、わたしたちは今でも名校長であったというふうに思ってます。



北野には18年間勤めましたが、何と言っても思い出深いのは野球部の全国優勝だね。準決勝も岐阜商業と接戦だったけれど、決勝の芦屋戦といえば…何しろTVの無い時代で、アルプススタンドで応援しましたが…アレは肩が凝るといふか、手に汗握る大変な試合だった。今でも光景がぜんぶ脳裏に焼き付いているよ。野球の試合はたくさん見たけれども、あんな場面というのは…後にも先にも無いだろうね。もう…声が出なくなる、という体験をしたね。

しかし、校内はとかく混乱期だったね。床板があちこち抜け、窓ガラスは割れている。机を叩き割って焚火する輩もおれば、職員室の隣の部屋を占拠して平気で煙草をふかしたり…。それでも寛容な時代だった…というか、当時は職員会議でそんなこと、あんまり問題にならなかった。教師の側にもいい加減な先生がいっぱいいたからね。朝からお酒を飲んで十三から学校に来る途中に倒れている先生もいたというし…。

混乱といえば、討議式授業というのもあったな。教室の椅子をバラバラにして、丸く円形に並べてね。教師はアドバイザーみたいな役割で、生徒が主体的にやる…という。アレは非常にやりにくかったね。すぐダメになっちゃったけどね。

生徒は面白いから…ただ、あんまり建設的な話をするのではなく、他人の足をひっぱることとか、学校の悪口言うところとか…そんなことばかりに終始してましたから、それほど意味があったとは思えませんね。あのまま押し通してやっておれば…案外良かったのかも知れないけど。しかし、受験勉強には具合が悪いな。

受験といえば…新制になってカリキュラムが横並びに一新されたおかげで、四年修了で旧制高校に入ろうと思って1・2・3年とキチンと勉強してた生徒にとっては、高校1年でまた同じことをやる。何にも新しいことあらへん…という弊害がかなりあった。そのせいか、随分と生意気な学生が多かったな。

反戦同盟もこの頃やったかな。何しろ配るビラの紙すら無かった時代だからね。正門やのうて…十三に出る通用門の前に机おいて署名運動をやった生徒がおって、先生が「止め」言うて…ちょっとした騒動になった。彼は「無許可団体でそんなことやった…」というカドで、その場で退学。そのハナシを聞いた生徒たちの中で「何で退学したんや？」言うて抗議する者も出てきてね。「校長の裁量権いうても無制限やないハズや、ちゃんと規則や決まりの根拠はあるのか…」それで大騒ぎになったことがある。



時代がそもそも混乱していた。覚醒剤も市販されてましたから…「ヒロポン打ってガンバロか」いうて受験勉強をしてた生徒もかなりいた。それは別に非合法でも何でも無かった。終戦直後は合法やった。それをやりすぎて死んだのが坂口安吾とかね。

女の子を殴った…とかいうので停学処分になったのもいたね。「男の子は掃除をしなくても良い」というのに腹を立てた女の子が、何かの拍子に部室の屋根の上からバケツの水をぶっつけた。それが、たまたま下にいたラグビー部員の頭のうえにかかって…。彼もその場で怒っていればまだしも、後から彼女を屋上に呼び出して叩いた、というからね。

「こんな学校、通うの嫌や」言うて、女の子は家に帰ってしまうし、先生が呼びに行ったら「もうアノ学校へは行かん」とか…。それで、そのラグビー部の部員が何日間か停学処分になった。

共学ショック…とでも言うのかな。卑近なハナシだけど…女子トイレがなくてね。大手前から来

た女生徒は、しばらくの間、職員トイレの「大」の便所を使うことになった。それにしても、ほんの3〜4つしかありませんでしたから、休み時間の度にそこへズラ〜と行列ができた。

「トイレが無い。自分たちが出来ない…」という女生徒の苦情はよく分かるんだけど、反対に教師の立場としては、女の子に便所を占領されると、なかなか入りづらくてね。「もう、授業が始まるのに…」と焦ることもしばし、で。真ん中にベニヤ板を張っただけの仮設トイレが緊急に造られて…とにかくトイレは大変でした。

あと…校歌ね。

北野で漢文の教師を14年、教頭を4年ばかり勤めまして、池田高校に校長として赴任しました。そうしたら池高では、みんな新しい校歌を歌ってんだね。竹中郁という人が作詞をした、それは素晴らしい名歌なんだけど…昔の池田中学時代のやつは完全に消えちゃってんだね。

だいたい他所の高校はみな校歌を変えたんだよ。ところが北野は「校歌を替えよう」という発想がこれっぽちも出て来なかった。考えも、思いもつかなかった。話すら無かった。伝統というものが生き続けている、というかね…。

ドコの学校でもあったんだよ。融和しない…という問題は。男女共学黎明期のとまどい。でも北野の場合は…何て言うか、これっぽちもハナシが出て来なかった。そして「六稜の星のしるしを青春の額にかざし〜」と依然、歌ってるんだからね。

「隣に北中の人が居る」といって市民が歌いだす(?)…というくらい『六稜の星のしるしを』が生甲斐みたいになってる。それを替えようなんて思いつきもしない。ものすごい誇りですよ、北野というのは。



最後に私事ですが…山登りが好きでね。浪高時代は…尋常科の2年生や3年生を連れて、よく白馬なんかへ行ったものです。後に、マナ

スル登頂の快挙をしでかしてくれた徳永クンの兄さんなんかも当時の生徒のひとりでした。あいにく北野の頃は…どういうワケか集団検診でひっかかりちゃって。レントゲンをとると影が出るんだね。それで、しばらく止めておったんだけど。有名な先生がいて治してくれた。それでまた復活したんだ。

もう絶版になっちゃったけど…その頃の思い出

を綴った著作が今までのところ2冊くらいあって。ちょうど今、3冊目を書いているところなんだよ。山の奇跡を題材に観音信仰と絡めてね…私の母親が非常に観音信仰の強い人だったんだけど、後で考えてみるとどうも繋がりがあるみたいなのでね。それを『山の観音力』という題でね。書いてみようかなと思って。もう、ほとんど終りに近いところ。

文楽にも有名な『壺坂霊験記』というのがあるけれど…まあ、あのようなもんだね。現代版『新・壺坂霊験記』そう、思って貰ったらイイです。



※『山の観音力』発刊の際には是非WEBでも紹介したいところ。71期の娘(岩田ヒサ子さん)、75期の息子(栗石潔さん)、そして99期の孫娘(酒井和子さん)、104期の孫娘(岩田朱美子さん)…と代々、北野とゆかりの深い家系。3歳のひ孫さんが北野に(?)入る100歳まで…どうぞご健康には気をつけて長生きしてください。(編)

聞き手●徳永行平、実方謙二、稲垣徹子(63期)、
菅 正徳(69期)、谷 卓司(98期)
収 録●Oct.17,1997

※六稜WEB「恩師を訪ねて」【第2回】(1997年10月)より転載

※訂正とお詫び

前号(NO.31)特集「わが校舎わがグラウンド(2)」において、編集部の手違いにより、射撃部の記事(p.12)に不適切な箇所がありました。慎んでお詫び申し上げますとともに以下のように訂正いたします。

- × 射撃部備品の99式銃
- 射撃部備品の38式銃

●六稜WEBインデックス

恩師を訪ねて

<http://www.rikuryo.or.jp/onshi.html>

【第0回】恩師の近況

(六稜WEBオープン記念特別企画)



【第1回】

わが教師生活57年…

水鳥喜平先生



【第2回】

男女共学ことはじめ

栗石鉦吉先生



【第3回】

キタノの美術と自由主義教育

中村 弘先生



【第4回】

江崎校長の思い出

【第5回】

北野に還るまでの遍歴

【第6回】

そして、母校へ…

寺田正一郎先生



【第7回】

太陽のおかげで

【第8回】

われこそは人間コンパスなり

山本敏文先生



【第9回】

自分がええ思たらええんや

【第10回】

ボクと物理と教育と…

【第11回】

やっぱり楽しかな…修学旅行

福田博造先生

to be continued.....

北野高校、誕生のころ

～男女共学はこうして導入された

1948（昭和23）年に新制高校が誕生して50年になる。前年の1947年3月31日に六・三・三・四制を定めた学校教育法が公布され、同年4月1日から新制小・中学校がスタートした。新制高校発足の前段階として、旧制中学校・高等女学校在校生に対しては次のような移行措置が採られた。

- ・1947年は新入生を募集しない。
- ・1947年3月現在の旧制中学（女学校）1・2年生は、4月よりそれぞれ新制中学の2・3年生となり（これを併設中学と称する）、新制高校に進学する場合は無試験である。
- ・旧制中学（女学校）の3・4年生は今春は旧制中学（女学校）の4・5年生に、明春は新制高校の2・3年生となる。

北野高校の誕生は同時に男女共学の誕生でもあった。大阪では従来の府立中学校(男子校)と府立高等女学校とが生徒・教職員の交換交流をすることになった。組み合わせの一例は次の通り。

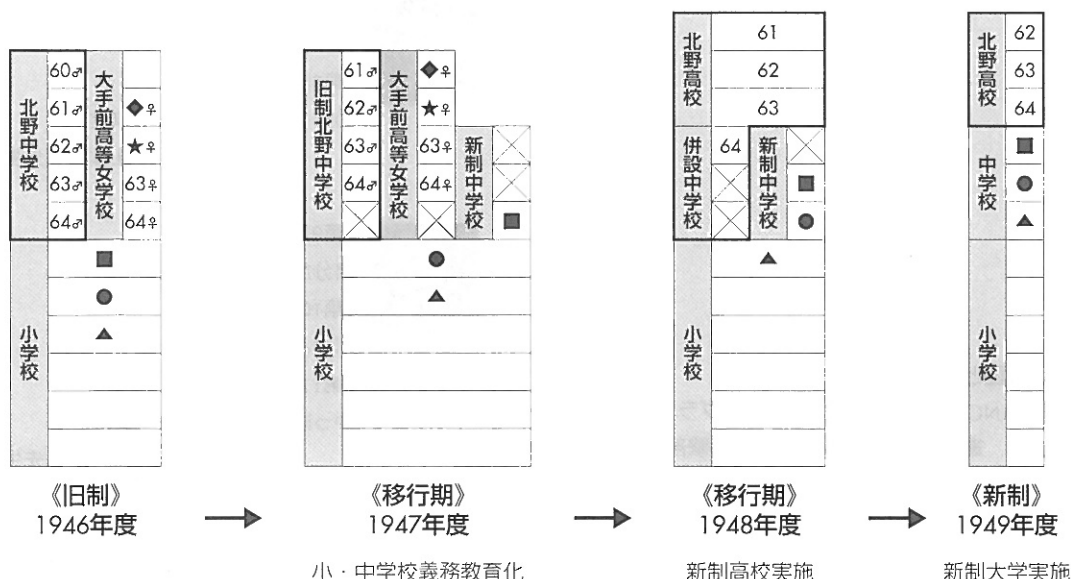
- ・北野中+大手前高女
- ・高津中+清水谷高女
- ・天王寺中+夕陽丘高女



※併設中学3年1組 杉橋クラス（撮影1949年1月8日）

1948年4月20日、大手前高校へ転出の教職員15名と生徒（併設中学3年116名、高校1年127名）を送り、同22日、大手前高校から転入の教職員15名と生徒（併設中学3年119名、高校1年114名、高校2年6名、高校3年6名）を迎えた。このうち、高校2・3年の転入生は自分の意志による転入であるが、他は居住地によって決められた「強制的」転入であった。

男子校として長い歴史を持つ北野に女生徒が来るというので、迎える方も来る方もまどいや混乱があったことと思われる。いまやあたりまえになった男女共学の50年前の風景を、大手前から転入してきた63期・64期の5人のお話を聞きながら思い浮かべてみることにしよう。



は存在しない学年。 数字は卒業の期。

座談会「北野にきた女生徒たち」



※出席者（カッコ内は旧姓）写真左から。

- 63期 斎藤（秋本）富美子さん
青木（井上）庸子さん
堤（笠城）英子さん
64期 田村（福本）弘子さん
北村（山森）英佐子さん

命令一下で泣く泣く北野に

（編） 大手前に入られた時はまさか途中でこういうことがあるとは思われなかったでしょ。

堤 家族も小学校の頃から大手前、大手前って思っていましたよ。北野は男子校で全然違うし。

青木 それは嫌やったわねえ。女学校の中で何度も討論会しましたわよ。時期尚早や言うて。でも命令一下、否応無しで。討論会もセレモニーという感じで…線引くように分けられてね。

（編） いつごろ分けると聞かされたのですか。

田村 そら間際でしたね。もう学年も終わりの頃に否応無しでした。

堤 もうぎりぎり。心の準備も何も無かったわけです。

田村 私、塚口から通ってたのに、大手前に残れるかと思ってわざわざ北区に寄留したんですよ。でも駄目やった。北区は男子は大手前に行かされて女子は北野だったの。

堤 兄妹で北野と大手前と入れ替わりになってしまった人がいたわねえ。

斎藤 だからね。男子で大手前に行かれた方はもっと憤慨していると思うわ。「女の学校へやられた」というのでね。

青木 泣きましたよ。何度も大手前見に行ったわ。

斎藤 学園祭を見に行つてね。なんか楽しそうにしているの見たら、また涙出たわね。

堤 何か「他所者が来たぞ」という雰囲気でしたからね。歓迎されていなかったという雰

囲気で。「大手前に帰りたい」と泣いてばかりいましたよ。府庁にも行ったことあるんです。直談判でね。北野の浜田校長が府の教育長も兼任してはったから…会ってくれはったけど「君らそんなこと言うたらアカン」とえらい怒られたね。「よっしゃ、よっしゃ」言うてくれはると思ってたのにね。

青木 私も家に帰ったらよう泣いてたんですて。でもね。父がたまたま北野中学で…子供が女ばかりだったので、まさか自分の娘が母校に行けるやなんて思てないでしょ。だからすごく喜んでたの。私は複雑な気持ちでしたね。

北村 私バレー部でね。受け持ちの先生が事務室にお呼びになって「あなたバレー部の選手だから、もし残りたかったら大手前に残れますよ」て言うてくれはったのね。

斎藤 戦力やったからやないの。

北村 それで考えたんですけど「友達がみな十三で降りはんのに、私だけ十三で降りないの嫌ですわ。北野へ行きます」と言いました。

堤 バasketもありませんでしたよ。先生が「残りたいんやったら残れるけど」て。「森小路に寄留したら大手前に残れる」とまで言うてはったわよ。でも、大手前もいいけど北野にも興味あったし、同じ小学校でた女子は全て北野に行くわけでしょ。自分だけ残るのもなんやしねえ。

斎藤 それにね。野球部が選抜に出はったでしょ。だから…北野に行く前から応援に行つたわね。もう行くことは決まってたんですけど。

堤 興味がものすごくあったわね。どんな学校かと思って。あんな牢獄みたいな学校と思てへんかったし。ガラスは割れてるし。

斎藤 重たい机でね、そこに一杯彫り物がしてあるのよ。「三高突破」「一高突破」て。

青木 大手前がね…前が大阪城で横が府庁だつたでしょ。それがここへ来たら何か汚らしい所を通つてね。環境が全然変わってしまいましたね。

田村 そうそう。独りで行くのが嫌でね。十三で待ち合わせして行きましたよ。

北村 待ち合わせしてね。途中にややこしいところあるしね。

堤 ここはあんまり通らんようにとか。指導もあったね。

（編） 治安状態は悪かつたんですか。

斎藤 そんなことは無かつたのよ。学校の裏出た



ら公園みたいになっていて何にも無かったの。私は塚本から通ってたんですけど、駅を降りたら学校が見えてましたから。畑の間を縫って学校に来てましたの。だから何年か前に塚本から学校に行こうと思って来たら学校が見えないでしょ。それで道が分からなくなりました。

堤 十三からも見えましたものねえ。焼けてたからねえ。

斎藤 お店も少ないし。畑や焼けてしまったお家もあったしね。淀川に霧がかかると前歩く人が見えない位でしたね。でも、なんといっても学校生活で一番深刻だったのはトイレよね。

堤 職員トイレしか女性用のが無かったから…。並んだわよね。

青木 しばらく経ってから簡易トイレが運動部の部室長屋（ながや）の奥にできましたけど…一人では行けないのよね。

田村 休み時間になると「トイレ行かない？」て誘ってね。部室の前に男の子が鉄橋みたいにいるてねえ。行きにくかったわ。前通ったら御手洗いに行くの分かってるからねえ。

ハンディを背負ってのスタート

青木 女子が来て学力が落ちたと言われましたね。

田村 でも歴然とあったものね。男子用教科書と女子用教科書は違っていたからね。中学でやっておられた二次関数なんか何にも知らなかった。習っていないですから。

堤 そら分かれへん。できないはずですよ。

青木 英語なんて大手前の時はリーダーだけだったんです。でも北野に来ると副読本が二冊もあって。英語と数学は歴然とした差がありましたね。

堤 それで一年生の時なんか毎日、補修授業がありましてね。山田先生が朝早く来てくれはって。

青木 ハンディがあったわねえ。

堤 「こんなことも知らんのか」言われてね。

田村 男の子たちは習うの2回目だね。露骨に嫌な顔されましたね。

堤 足引っ張っている感じやったね。うっとうしい顔してた男子いたわね。

田村 「女子が来て学力が落ちてはいけない」とわざわざ言いに来る卒業生もいましたよ。

北村 先生もおっしゃったのよ。職員室にちょっと文句言いに行ったわよ。

斎藤 「伝統の北野に女子が来た」とすごく言われましたよ。

堤 こっちは意欲失うよね。あの年齢の頃はもちあげてくれたら乗るのに、上から押さえつけるようなことばかり言われてね。それで楽なほうに走りましょかという感じになる。まあこれは私だけやけど（笑）。

青木 少しは頑張って、高校2年生あたりで追いついたかと思ってたのに、その頃からいい学校狙ってる男子がラストスパートかけて、またぐんと離されてね。

斎藤 高3になったら、ほとんど学校行かないで図書館行く人多かったね。

堤 遠足で、駅で最初出席とったらそれで解散して、そのまま図書館行く子いたね。私ら嬉しいから遠足行ったけどね。

斎藤 だいたい男子には修学旅行がなかったからね。女子が行ってる間にバーッと授業したのよ。

堤 私ら自分たちで積み立てして行ったのよ。先生らそんなん世話してくれはれへんから。

斎藤 「女子はこんな時しか旅行に行けないから…」言うてね。

青木 今聞いたらなんか笑うね（一同爆笑）。まさかこんな世の中になるとは思てなかったから…。その時は「やっぱり今、修学旅行に行っておかないと行けない」という気があったわね。

- 北村 中学では行っていないから、高校で初めてなのよね。
- 青木 よその学校見たら共学で男女一緒に来てるのに。なんか寂しかったね。
- 北村 ところで、漢文で習ったことある？
- 斎藤 漢文は選択で…音楽と美術と書道と漢文と家庭科の中からの選択だったのよ。私ね、漢文を選択しなかったの。女学校は古文だけでしょ。だから、ついぞ漢文というものを知らずに終わったの。いま漢詩とかの講座聞いたら面白いのよね。残念だったわ。
- 青木 私たちの頃は、ちょうど学制がころころ変わってね。すごく歴史に弱いんですよ。
- 斎藤 縄文式とかチグリス、ユーフラテスとか…同じ所を何度もやり直してばかりでしたから。先に進む前に学制変わってしまって…そのうえ「黒塗り教科書」でしょ。しかも全員には当たらないの。6人中5人までは藁半紙の教科書で、あとの一人には当たらない。私、くじ運が悪くていつでも当たらないのよねえ。それで写したり借りたり…。
- 堤 今みたいにコピー無いからねえ。
- 一同 本当、歴史に弱いわあ。
- 青木 進学適正検査の科目も変わったでしょ。
- 田村 5教科が8教科に変わってね。
- 青木 国公立がそうなったのね。一番めぐるしく変動していて形ばかりの制度だったわね。
- 一同 そうそう。
- 青木 私たち、大手前が接収されていて桜塚高女の校舎に入れられてね。一つの教室に2クラス分放り込まれてね。
- 堤 全員豊中まで通ってたんですよ。学校疎開や言うてね。
- 田村 一回教室に入ったらそれこそお手洗いや行けないの。身動き取れないくらいぎっしりと詰め込まれてね。
- 田村 みなさん随分遠くから通ってはったわねえ。
- 堤 満員電車乗ってねえ。扇風機もないし暑かったわね。
- 青木 私、大手前の時に電車の窓に手ついてガラスが割れて…いまだにココに傷があるの。ほら。ガラスが割れたら板張りになって、もう暑くて暗くて…。
- 堤 北野は服部農園行ってはったけど、大手前は寝屋川農園でね。寝屋川から歩いて帰ってきたものね。あんだけ歩いたら足も腰も丈夫になるわ。
- 斎藤 すごく勉強しないといけな時期に大手前で陸軍病院の焼け跡の整理ばかりしてたのよ。
- 堤 そう焼け跡の整理ばかりでしたね。
- 青木 豊中から本運んで帰ってきてね。何にもなかったからねえ。
- (編) 生徒と一緒に北野に移ってこられた先生方も苦労されたようですね。
- 堤 たいへんやったと思いますよ。
- 田村 たくさん一年で辞めはりましたものね。女の先生は特に。
- 斎藤 N先生とかね。大手前から奈良の女高師を卒業して…先生になったら23、4歳でしょ。それがこっちに來たらワルさの男の子が質問攻め。それこそ質問のための質問なのよ。
- 堤 そうかと思ったら悪戯よね。嫌やったね。
- 斎藤 地学教えるのに地球儀を持ってこられるでしょ。その地球儀を外してね…電灯の丸いカバーつけているの。先生が泣き出さんばかりになってね。
- 青木 I先生なんか可愛らしいから、授業中にね、「あと何分。頑張れ」とか書いた旗を掲げる子がいたんです。ドアに黒板消し挟むのなんかはもう常識。
- 斎藤 今はそんなことしないでしょ。考えたら幼稚よね。
- 北村 まだ可愛らしいね。
- 堤 I先生も一年で辞めはりましたね。先生どうしの結婚もわりにあって、津吉先生は福田先生の奥さんになりはったし、小池先生とこもそうやったね。
- 田村 私たち、先生と缶蹴りして遊んだんですよ。A先生が休み時間に生徒と早く馴染もうとされていたのか遊ぼうと誘いに來てね。それでA先生は女子に弱いからいうて男子が授業ボイコットするのに使われてね。先生來たら男子全員いなくなってる、二人の女子が「先生、皆帰りました」と言う役目でね。「じゃあ今日はもうしょうがない、授業無しにしましょう」ということになってね。

共学生活あれこれ〜クラブ・制服・校歌

- (編) その頃のクラブ活動はいかがですか。
- 堤 結構盛んでしたよ。
- 北村 私は新聞部でとても可愛がってもらいましたよ。
- 堤 文芸部とかも未だに仲ようしてはりますわ。
- 田村 私は理研にいたんですけど、大学に入った先輩がしょっちゅう遊びにきてくれて。

堤 その時分、野球部が強くて勢力もってたから、ソフトボールの同好会なんかやってたけど「邪魔になるから十三公園でやれ」とか言って、さして貰われへんかった。確かにそういう所はありましたよ。強いところはラグビー、バレー、野球やねえ。

田村 汚い体育館があって、バレー部が使われてたわね。

北村 床に穴あいてね。

堤 それこそ女子はお荷物みたいな感じでしたね。バスケットなんか正岡先生が指導して国体なんかに出ている時分でね。女の子なんかちょこちょこしたら、はい休憩、帰れ、てなもんでしたね。まあ、言うたら合間に使わしてもらっただけでしょ。

青木 器械体操もその間に使うしね。その頃強かったから。

堤 文化祭でバザーみたいなのもしたわね。なんか色々と物売ったりしてね。野球部のバザーとか。

青木 割合盛んだったわねえ。

堤 飲食の模擬店もありましたよ。おいしかったねえ。父兄も来てくれはったしねえ。

田村 水泳大会も断郊競走もありました。

北村 女子は競技数少なかったですけどね。

田村 それに駅伝があった。今は道路事情が許さないでしょうけど。

斎藤 私あんまりプールに入った思い出ないのよ。

堤 放課後開放してたから、私運泳ぎましたよ。でも水が汚くてゲンゴロウが泳いでましたね。底も壁もヌルヌル。あんな今ごろ考えられへんね。

青木 プールの水を入れ変えると十三の街が断水する言うてね。

一同 そうそうそう。

堤 水球も強かった。国体に出はったらね、休み時間に帽子が回ってくる。それでカンパようしたわね。

田村 「教室のドアを必ず開けておくこと」というのありましたね（笑）。

北村 あったわねえ。それは守りましたよ。

青木 制服は最初大手前のそのまま着てたんですよ。セーラーでね。

斎藤 その制服をずっと持ってたんですけど大手前から頼まれて寄付しましたのよ。

青木 討論会あったよね。「制服をどうするか」という…。

堤 ようやりましたね。生徒会で女子だけ集まってね。

斎藤 形が決まった後、制服はそれぞれに注文したりして作りましたよ。スカートはボックススプリーツで襟はこんなんでね。生地もみんな違うし、それぞれにウエスト絞ったりしてね。戦時中は女学校服みたいなのがあってね、ヘチマ襟で黒くて。夏でも腕出したら目立って機銃掃射受けるからといって長袖のままでね。

北村 校歌が変わらなかったのはどうしてか、誰かご存知ですか。

青木 なんか集まったような気がしますね。校歌を変えようというて。

北村 それでね。女生徒にどう思うかって聞かれたような気がするんですね。覚えがないですか。うちの校歌はご存知のように非常に旧制中学らしいものでしょ。ですから抵抗感じて歌わなかったんです。いまだに歌詞見ないと歌えないんです。

青木 大手前も変えてはれへんでしょ。あれの方がおかしいわね。女学校の歌詞なのにね。

北村 音程は男性に合わせて少し下げたんですよ。

青木 豊高や桜塚なんか校章も変えはったよ。

田村 でもいつも思いますわ。よくぞ大手前と北野でやってくれたわねえと。

大手前の誇りは捨てず…でも北野でよかった

堤 大手前には「大手前教育」というのがあって。うちらは大阪ではトップやと思って頑張っていたわけ。マシやと思てたのに北野に行ったらクシャッとやられてね。

北村 私の姉が大手前だったんですけど、大学のように講座制にして随分すすんだ形の教育してたらしいですよ。

(編) 女子の進路はどうでしたか。

堤 就職した人も多かったね。

斎藤 就職難の時代であったけれども、皆さんいいところに行かれたわねえ。

堤 「北野からやったら銀行でもどこでも世話



してあげる」というのあったわねえ。

(編) 女子が大学に行くということについてはどうでしたか。

田村 両親は言わなかったけど、「大学行ってどうするの?」という親戚の人はいましたよ。

斎藤 行くものと思ってる人と、そうでない人といったわね。

堤 最初、女学校という感覚で大手前に入れてるわけでしょ。それが新制高校に変わってしまって、4年で専門学校に入れるつもりやったのに2年も遅れてるという感覚やったわけよ。女の人は20歳から23あたりが勝負という時代でしたからね。

斎藤 家庭によるのかもしれませんが、うちはそんな雰囲気は全然なかったし、当然上に行くものやと思ってましたけど。

堤 少なくとも大手前に行かせようというお家の方はね、やっぱり専門学校…たとえば府女専(大阪女子大)、牧野の女子医専(関西医大)、奈良の女高師(奈良女子大)なんかに行かしたと思ってたのよ。終戦後ごちゃごちゃになって、経済的に苦しくて、東京になんかは行けませんでしたから。まあ一年違うと事情もちがうでしょうけど。

田村 先生に私たちの学年と一年上とではえらい違うと言われましたよ。64期は女学校の2年間→併設中学3年生→新制高校1年生と下級生がずっと無くて、高校2年生の時に初めて下級生が入ってきたけど…あの人たちは私たちよりずっと大人やったね。あつちはずっと最上級生でしたものね。

堤 でも64期の女子は可愛がられてたでしょう。

田村 ずっと下級生気分、英語なんか上の学年の人に教えてもらったり。一年下の女子は、「水泳大会、男女一緒にするの嫌です」ってハッキリ言い合ったものね。

堤 しっかりしてたわね。女子を召集してね、「なんで女の子だけこんなこと言われんないといけなんですか」と言ってきましたから。男の人たちは64期の女子がおとなしかったから可愛がってたみたい。私たちは憎たらしかったみたいよ。それはよう言われまし



たから。

(編) 大手前女学校という看板つけて乗り込んできたからやないですか。

堤 そうなんよ。私達の期は張り切りガールが多かったと思うわ。

(編) 63期は3年間、64期は4年間過ごしたあと、出る時はどうでしたか。

青木 出る時は良かったのよねえ。

一同 北野に来て本当に良かったわよね。

堤 北野は自由でしたから。大手前は女子校の厳しさが残っていたみたいよ。体質的にね。

一同 本当に自由でしたね。

田村 生徒の自主性を重んじていましたね。

堤 それで全然勉強せえへんようになった(笑)。

斎藤 そらね、最初はいじめられましたよ。でも最初だけ。それからは仲良くなりましたよ。

青木 最初は、教室入ろうとしたら入れてくれなかったのよ。バット振り回したりして。

堤 この子ばかげたこと言う…と思ってこっちもカーッとなったりしてね。

青木 それはねえ。最初の二ヶ月だけでしたね。本当に最初だけ。

斎藤 楽しい高校生活でしたよ。

北村 北野に来て本当に良かったと思うのは、同級生に感心させられる人がたくさんいらったことですね。学力という面だけでなく、哲学にしろ文学にしろ皆様知識の幅が広がってね。

堤 幅広かったですね。

青木 「男の人たちにはかなわない」と思いましたね。刺激をずいぶん受けました。

斎藤 振りかえったら北野の3年間って本当に良かったわねえ。

田村 64期は4年間もおいてもらったしねえ。

堤 あんまり楽しいから「もう1年おらして」て頼みに行ったら、先生に「だめ。あんたおったら影響大きいから、出したる」って言われましたね。

一同 爆笑。

人六らわ



※題字は森繁久彌名誉教諭より頂戴しました（97年10月17日）。



【第1回】1997年9月掲載

森繁名誉教諭と3人の北野生たち

森繁久彌さん(44-45期)

- 1時間目：歴史「ボクと北野と～悪童列伝」
2時間目：音楽「北野のうた、アレコレ」
3時間目：保健体育「少年の恋は淡く切なく」
4時間目：倫理「人間を見抜く教育を～北野は永遠に」
付録1：参考図書
付録2：参考資料



【第2回】1997年10月掲載

六稜のタカラジェンヌ

植松憲子さん(78期)

植松美貴さん(104期)

- 第1幕：タカラヅカというところ
第2幕：母娘対談「美苗みつるvs真竹すぐる」



【第3回】1997年11月掲載

伝統を守る…2人の選択

内藤壽一さん(61期)

故 西尾清司さん(77期)

- 商家の屋敷を遺す…内藤氏の選択
庄屋の屋敷を遺す…西尾氏の選択



【第4回】1997年12月掲載

楯円のボールに託した夢

自見弘之さん(70期)

- 第1回戦：宿命の対決「天高戦」
第2回戦：青春はラグビーとともに
第3回戦：最初の10年…
準決勝戦：46年ぶりの花園、1987
決勝戦：ラグビー馬鹿の一念な願い



【第5回】1998年1月掲載

憂国大使の創作バレエ

中江要介さん(53期)

- 第1幕：晩生の少年時代
第2幕：外務省のシゴト
第3幕：人生の転機、5秒前!!
第4幕：外交官、商売繁盛記
第5幕：「文化大使」が嫌いなワケ
第6幕：そして、日本亡国論



【第6回】1998年2月掲載

4本の弦で紡ぐ音色は

高木和弘さん(103期)

- 序曲：ちょっと涼しいハナシ
第2曲：消去法でフランス留学?!
終曲：帰国、そしてプロの修羅場へ



【第7回】1998年3月掲載

わたしは好奇心のかたまり

丸野豊子さん(66期)

- 第1展示室：わたしの学生時代
第2展示室：北野での収穫?!
第3展示室：主婦から社会へ
第4展示室：21世紀の子供たちへ

【第8回】1998年4月掲載

ボクらの北中時代

北中記念碑の会の皆さん



【第9回】1998年5月掲載

全国制覇…あれから50年【前編】

選抜優勝の野球部OBの皆さん

- 1回表：野球人生のはじまり
1回ウラ：絶勘・広瀬のこと
2回表：名将ジーヤン…清水治一
2回ウラ：甲子園に出れば、銀シャリが食える?!
3回表：初戦の相手は日川高校





【第10回】1998年6月掲載

「いのちの携帯電話」を持つ男

白倉良太さん(73期)

- 第1病棟：板前の夢は覚めて
- 第2病棟：心臓移植に捧げた30年
- 第3病棟：日本で心臓移植ができない理由
- 第4病棟：心臓移植、日米比較
- 第5病棟：「その時」のために……



【第11回】1998年7月掲載

コスモポリタン必要条件

藤田田さん(57期)

- バリューセット1：北野はいい学校だった
- バリューセット2：名作アルバム?!
- バリューセット3：英語からドイツ語へ
- バリューセット4：3足のわらじ
- バリューセット5：日本人ががんばれ
- バリューセット6：わが子に……そして六校の後輩たちに

【第12回】1998年8月掲載

全国制覇…あれから50年【後編】

選抜優勝の野球部OBの皆さん

- 1 回戦：出場2年目の余裕?
【vs日川高】
- 2 回戦：野球はみんなでやるもの
【vs桐蔭高】
- 準決勝戦：大阪の恥さらし、やめて帰ってまえ
【vs岐阜商】
- 決勝戦：六校史に輝く甲子園優勝
【vs芦屋高】
- さいごに：あれから50年
【現役に贈る言葉】

to be continued.....

※紙面の都合上、本文が紹介できません。直接インターネットに接続してご覧いただくか、125周年記念CD-ROM『六校WEB'98』にこれらの内容を全文掲載したブックレット(小冊子)が付録で添付されますので、そちらでお楽しみください。なお、CD-ROMのお申し込みは同封の郵便振替用紙をご利用ください。

●六校WEBインデックス

わがまち大阪とともに

<http://www.rikuryo.or.jp/osakagaku.html>



【連載】1998年1月終了

北野高校にちなむ大阪の歴史

脇田 修(62期・大阪大学名誉教授/文学博士)

- 第1話●「その昔、難波御堂に堂島に」
- 第2話●堂島界隈
- 第3話●常安町
- 第4話●北野
- 第5話●十三



【連載】1998年6月終了

壽妃が見たオオサカ

Juhi Gore(大阪府立北野高等学校AET講師)

- 第0回●My Name Is Juhi
- 第1回●Osaka -

A View of the City from a Foreign Perspective

- 第2回●Sake Day Out
- 第3回●Teaching Students at Kitano



【連載中】

大阪の橋

松村 博(74期・大阪市都市工学情報センター常務理事)

- 第0回●執筆者紹介
- 第1回●十三大橋(1)：中津河の橋
- 第2回●十三大橋(2)：十三の渡
- 第3回●十三大橋(3)：十三橋
- 第4回●十三大橋(4)：鉄橋の十三橋

to be continued.....

#

六稜NEWS【Sep.1997→Aug.1998】

http://www.rikuryo.or.jp/news.html

■常任理事会（平成10年6月20日）

- ①同窓会館機能検討委員会および小委員会の活動報告
 - ・校舎改築記録小委員会
 - ・植栽小委員会
 - ・資料(史料)の調査・保存・展示について
- ②名簿委員会活動報告
- ③125周年記念総会実行委員会活動報告
- ④ホームページ運営委員会活動報告
 - ・取材内容
 - ・文化祭参加報告
 - ・校舎改築記録写真展の告知活動
 - ・六稜WEB展示
- ⑤その他
 - ・東京六稜会総会の報告
 - ・常任理事会の構成について
- ⑥同窓会館募金について

■理事会（平成10年6月20日）

- ①平成9年度決算について
- ②平成10年度予算について
- ③同窓会館建設問題について
- ④名簿委員会活動報告
- ⑤125周年記念総会実行委員会活動報告
- ⑥ホームページ運営委員会活動報告
- ⑦その他（会費納入率アップに向けて、同窓会の活性化）

平成9年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

科目	決算	摘要
●収入の部		
1 前年度繰越金	98,995,608	大和会貸付金、郵便定期貯金 農林中金定期、住友スーパー定期、ほか
2 一般会計より積立金	6,000,000	
3 利息収入	689,257	
収入合計	105,684,865	
●支出の部		
	0	
支出合計	0	
次年度繰越金	105,684,865	

以上の通り 平成9年度六稜同窓会基金会計報告を致します。
 平成10年4月30日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
 本会計の正確であることを認めます。
 平成10年4月30日 六稜同窓会監事 滝井尚三
 六稜同窓会監事 柳田圭児

- 9月23日 六稜WEBオープニング祝賀会、盛会。
- 10月1日 六稜四九会展、今年で第8回。
- 10月4日 体育大会、仮装の演目【速報】
- 10月5日 岡村隆久展、15日(水)まで。
- 10月14日 体育大会、実施要項【速報】
- 10月19日 体育大会【実況中継】終わる。
- 10月22日 体育大会、成績発表。
- 10月24日 上野淳一氏を悼む。
- 10月26日 124周年総会、盛会。
- 10月27日 124周年総会、お礼の言葉。
- 10月28日 124周年総会、舞台裏から。
- 11月3日 KAME展、15日(水)まで。
- 11月7日 クイズラリー当選者と解答。
- 11月8日 37期（大正13年卒）、8名が集う。
- 12月16日 高木和弘ヴァイオリンリサイタル東京公演。
- 12月19日 六稜WEB主催、英文文コンペ開催。
- 12月21日 高木和弘ヴァイオリンリサイタル大阪公演。
- 1月1日 謹賀新年1998 事務局から。
- 1月14日 15年目迎えた寺田古文の会。
- 1月15日 長野冬季五輪 聖火リレーin大阪。
- 2月13日 六稜健児、走る～第62回断郊競走。
- 2月27日 新会員誕生、402名～第50回卒業式。
- 2月28日 六稜観梅会、今年も。
- 3月8日 六稜「金鹿」聞き酒会、盛況。
- 3月20日 合格発表、新1年生は360人。
- 4月1日 平成10年度入学式、講堂で厳かに。
- 4月12日 【訃報】乗岡フミ先生、ご逝去。
- 4月15日 春の異動、母校よりお知らせ。
- 4月20日 北野中学校 記念碑の集い1998。
- 4月30日 佐伯祐三展、5月17日まで。
- 5月7日 和太守卑良展、12日まで。
- 5月10日 北野高校吹奏楽部 第1回定期演奏会。
- 5月14日 シモヌ・近藤展、19日まで。
- 6月2日 校舎改築工事、ついに始まる。
- 6月3日 通用門閉鎖のお知らせ。
- 6月7日 六稜WEB、文化祭に出展。
- 6月7日 平成10年度 文化活動振興賞授賞式。
- 6月13日 山岳部、インターハイ出場決まる。
- 6月20日 ラグビーカナダ遠征選抜チームに古川くん。
- 7月5日 Farewel Tour - Juhiサンありがとう。
- 7月6日 六稜剣友会レポート。
- 7月12日 サッカー部50周年レポート。
- 7月16日 がんばれ、六稜健児1998夏。
- 7月18日 山岳部、インターハイ出場壮行会。
- 8月15日 卓球部50周年レポート。
- 8月16日 北野高校コーラス部フェスティバル'98。
- 8月29日 吉原治良展、9月13日から。

※六稜関連のイベント情報は 同窓会事務局（Tel.06-306-0374／月・水・金）またはEメール（info@rikuryo.or.jp）でお知らせ下さい。

PARTY REPORTS

1997.8→1998.7

※同窓生の各種集いの報告を、この欄にお寄せください。

六稜同窓会124周年総会

1997年10月26日(日)12時30分より、北野高校講堂で開催された。稲畑勝雄会長、秋田典昭名誉会長(校長)、大山利雄東京六稜会会長が挨拶。会務報告のあと議事に入り、役員等交替人事、96年度決算報告、97年度予算案が審議の上、承認された。

1時から第二部、詩人の杉山平一さん(44期)による卓話「詩のこころ」。杉山さんは昭和6年に松江高校に進学。そのころから映画館に足しげく通い、モンタージュ論への関心から詩に目覚めたと言う。言葉と言葉の組み合わせのおもしろさ、それが詩と知ったのである。次に詩とは比喩だと発見。さらに日常を破っていくおもしろさ、違ったものどうしの取り合せが生む新しい意味、役に立たないものへの憧れが詩の根幹にあるということ、自然界のリズムを捕らえることの必要性、と詩の要素をわかりやすく例をあげて述べ、詩とは役に立たなくても生きていたくなるものと結んだ。むずかしいと思われがちな詩をわかりやすく説き、巧まざるユーモアに会場からの笑い声もしばしば。杉山さんの理知的で温かいお人柄がうかがえる講演であった。



講堂入口には当番期の78期の立案企画によって各期・クラブの刊行物が展示された。

会場をプラザ・オーサカに移して第三部懇親パーティーが2時15分に始まった。今年は堂島・中津・十三の三校舎の絵のテレホンカードを景品とする抽選会や、詰襟、女子制服、書生姿を含む78期面々のリードによる校歌斉唱などに盛り上がり、賑やかでなごやかな集いは4時に閉幕となった。

東京六稜会41回総会

1998年6月4日。丸の内の日本工業倶楽部において、200人におよぶ出席のもと開催された。第一部の総会は大山利雄会長(56期)の開会の辞で始まり、次に秋田典昭北野高等学校校長が挨拶。校舎改築の現況や他校の追従を許さない北野同窓生の文化活動の紹介、ケントウッド高校との国際交流の報告があった。続いて岸田知子常任理事(78期)が同窓会館を六稜文化の発信基地とすべく会館機能検討委員会が発足したこと、六稜ホームページ

は質・量ともに内外に誇れるものであり、各世代の会員の自発的参加により運営されていること、同窓会活動の変革が進みつつあることを述べ、最後に男女共学となって半世紀、もはや女性のいない同窓会は成立しないと締めくくった。

第二部は村井章介東京大学教授(79期)による「足利尊氏—激動の時代を生きた政治家」と題する講演。かつて足利尊氏を逆賊とする歴史教育があったが、村井さんは、あまり政治家向きの人格ではなかった尊氏がなぜ政治の渦の中心となったかを軸に、尊氏の人物像を平易な言葉で語った。

第三部の懇親パーティは当番期の79期が演出。目玉は新進気鋭のヴァイオリニスト高木和弘さん(103期)の演奏。イザイ「無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番」とエルンスト「庭の千草」による変奏曲の見事な演奏を披露してくれた。この後、全員で校歌を斉唱し、総合司会の岩木俊さん(63期)の閉宴の辞でお開きとなった。

参加者の声を拾ってみると「毎年楽しみにしている。今年も大変おもしろく勉強になった。六稜人からのビックバンなどのなまなましい話も聞きたい」(60期代男性)。「ヴァイオリンは収穫だった。これからも魅力あるものを用意すべきだ」(80期代男性)。「はじめて総会に出てきたが、先輩の人たちに人生を語ってもらいたかった」(109期女性)。

参加世代に偏りがあるものの、学んだ時代や社会での活動領域を異にする人たちが一堂に会する同窓会ならではの光景が見られた。パーティーで初めての人に話かけ会話を楽しむことのできる若い世代のパワーが次の同窓会の柱となってゆくことを期待したい。

六稜ゴルフの集い

六稜には(1)期別対抗、(2)クラブ対抗、(3)天高定期戦の3大ゴルフ・トーナメントがある。今期の記録は以下の通り。

【第9回クラブ対抗ゴルフ】1997年9月15日 三田カントリー27に10チーム、8クラブ・99名が参加した。今回より上位5名のグロスで競うことになったが野球部Bが野球部Cに5打差をつけて優勝。

1.野球部B.....451	6.卓球部.....509
2.野球部A.....456	6.剣道部.....509
3.ハンドボール部....492	8.陸上競技部.....526
4.応援部.....498	9.水泳部.....534
5.ラグビー部.....499	10.野球部C.....543

※個人成績は次の通り。①永江(73期,サッカー) ②赤尾(64期,野球A) ③上条(68期,野球A)

【第11回桃陰六稜親善ゴルフ大会】1997年11月6日
 センチュリー吉川にて天王寺の幹事で開催。競技
 方式は出場全選手カウントの天王寺方式。両校の
 精鋭77名が参加。このところの常勝に油断したか
 不覚をとり3敗目を喫した（7勝3敗1分）。男女上
 位（北野のみ）は以下のみなさん。

男子	女子
1.尾崎 馨(67期).....82	1.山田昭子(69期).....103
2.久保公一(78期).....85	2.伊藤民子(70期).....107
3.徳永孝哉(61期).....86	3.久保田静(73期).....108
4.奥田耕三(73期).....86	4.岩本洋子(69期).....111
5.古田晴敏(80期).....87	5.遠藤啓子(78期).....117

【第12回桃陰六稜親善ゴルフ大会】1998年4月29日、
 三田カントリー27にて六稜方式（男子上位20名、
 女子上位5名の合計）で対戦。2連敗の汚名を立派
 に濯いだ。対戦成績はこれで8勝3敗1分となった。
 今回は男子が北野1,693打、天高1,694打と1打差の
 接戦だったが女子が北野478打、天高556打と圧勝
 だった。男女上位（北野のみ）は以下のみなさん。

男子	女子
1.赤尾賢次郎(64期).....79	1.森本詔子(68期).....84
2.上條孝二(68期).....80	2.明瀬津多子(66期).....96
3.増田邦夫(78期).....80	3.久保田静(73期).....96
4.阿山輝彦(68期).....81	4.内村真理子(78期).....100
5.東口義仁(71期).....81	5.山田昭子(69期).....102

【第9回期別対抗ゴルフ】1998年7月20日、三田カ
 ントリー27に131名が参加、13期の対抗戦となっ
 た。このところ4連勝して意気上がる71期にこれ又
 過去3勝している72期がなんとか連勝を阻もうと挑
 戦した。結果はたった2打差ながら71期の5連勝と
 なった。（1.2.3.5.7位の合計）

優勝 71期.....424	8位 69期.....469
2位 72期.....426	9位 78期.....469
3位 68期.....430	10位 70期.....471
4位 73期.....436	11位 77期.....475
5位 76期.....445	12位 65期.....499
6位 67期.....452	13位 66期.....501
7位 75期.....459	

※個人成績は以下の通り。

男子①谷口行(76期) ②今井(71期) ③藤戸(70期)
 女子①森本(68期) ②久保田(73期) ③内村(78期)

※なお、次回より期別対抗ゴルフ運営の事務局は従来の菅
 正徳氏（69期）から林田隆氏を中心とした78期に引き継がれ
 ることになった。又、クラブ対抗についても来年より78期
 の担当となる。どんどん若い期の諸君が参加されることを
 期待したい。天王寺との定期戦は引き続き菅氏が担当する。



■姉妹校提携

国際交流基金事業の柱として従来から交流を続け
 て来たケントウッド高校（米国ワシントン州立）
 との間に、正式に姉妹校提携を結ぶことになり、
 本年3月本校からの交流派遣生徒訪問に期を合わせ
 て、その調印が行われました。その折、同窓会から
 寄贈いただいた記念品を姉妹校提携記念として
 贈呈しました。ここに改めてご報告しお礼を申し
 上げます。



■北野高校国際交流基金にご協力を!!

昨年の会報(Vol.31)でお願いしましたところ、同窓
 の先輩諸氏からご厚志を賜り、交流活動の充実に
 役立たせていただきました。あつく御礼申し上げ
 ますとともに、今後なお広くご支援賜りますよう
 お願い申し上げます。

【御寄付】1997.9～1998.8

69期同期会	10万円
85期同期会	5万円

■平成10年度全国大会等出場激励金

- ・全国高校囲碁選手権全国大会
 [団体戦の部]
 船橋俊輔、大久保裕介、山内熱人(囲碁将棋部2年)
- ・全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 個人戦の部
 船橋俊輔(囲碁将棋部2年)
- ・全国高等学校総合体育大会 登山競技の部
 長尾拓哉・石垣真一・武田健太郎(以上、山岳部3年)
- ・近畿高等学校選手権 水泳競技大会 100mバタフライ
 伊藤正幸(水泳部3年)
- ・大阪高校選抜カナダ遠征
 古川龍馬(ラグビー部3年)

※以上の団体・個人に、規定に従って激励金が授与され
 ました。ありがとうございました。なお、山岳部は5年連
 続インターハイ出場を果たしました。

■職員異動

〔御退職〕……………
西津 勇技師（S49～）が24年におよぶ本校勤務を全うされ3月で退職されました。なお4月から引き続き非常勤特別嘱託員としてお世話いただいています。

〔御転任〕……………
西川芳夫教頭（H8～、在職2年）は八尾南高校長として
佐々木利昌先生（社会S60～、在職13年）は刀根山高校教頭として
宇田和英先生（国語S63～、在職10年）は渋谷高校へ
橋本友宏先生（社会H5～、在職5年）は刀根山高校へ
保寿節子先生（数学S63～、在職10年）は茨木西高校へ
篠崎友宏先生（保体S62～、在職11年）は大塚高校へ
河内敬司主事（事務H6～、在職4年）は高槻南高校へそれぞれ転任になりました。

〔御着任〕……………
次の教職員の方々をお迎えしました。
浦谷正美教頭
少路高校教頭から
中村一郎先生（国語）
香里丘高校から
鈴木久美夫先生（社会）
西成高校から
森 真一先生（数学）
少路高校から
小磯 持主查
校方土木事務所から
澤田広二技師
新規採用

〔御不幸〕……………
中山勝治先生（国語、S24～S33）が昨年12月に、
乗岡フミ先生（数学S23～49）が本年4月にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■全国大会出場激励金

（See. → p.19）

■平成9年度文化活動振興賞
授与者および受賞理由は次の二人。
船橋俊輔（囲碁）2年
・第21回全国高校囲碁選手権 個人戦 大阪大会2位、全国大会Best32

・第15回大阪府高校囲碁新人大会 優勝
・第17回近畿高校総合文化祭囲碁部門 個人戦第2位
中谷加奈（バイオリン）1年
全日本学生音楽コンクール大阪大会バイオリン部門第2位

■平成10年度文化活動助成金

該当者なし。

■平成10年度文化祭記念講演
今年の記念講演は、6月8日（月）に本校講堂において、お二人の卒業生をお招きして行われました。
〔午前の部〕……………
正岡 徹氏（63期、S26卒）
大阪府立成人病センター顧問
「骨髄移植と骨髄バンク」
〔午後の部〕……………
中江要介氏（53期、S15卒）
元駐中国大使、三菱重工工業顧問
『21世紀に日本は生き残れるか』

■クラブだより

……………運動部（50音順）
【合気道部】部員は現在、2年が10名、1年が13名です。OB・OGの方々の協力も得て、楽しく真剣に練習しています。なかなか思い通りにはいきませんが少しでも合気道を理解しようとする毎日です。また今年の夏期合宿は八尾北高校と合同で行います。

【器械体操部】新入部員も入り、2年生とともに夏休みの大会に向けて日々練習を重ねています。今年の目標は男女共に大会で入賞することです。
《97年度大会成績》
・府立高大会
山分 個人8位、床2位
小財 平均台5位
・新入大会
男子団体6位
河村 個人10位、床3位
・春季大会
男子団体6位
河村 個人5位、床1位
※今後の活動予定
7/23・24 府立高大会
8/6・7 2部大会
9/5・6 大阪総体

【剣道部】今年も1年生がたくさん入部し部員は30名近

くです。文武両道の精神に基づいて日々の稽古に励んでいます。
・98年全国高校剣道大会ブロック予選
男子団体1回戦 ○ 大阪高校
2回戦 × 金光第一
女子団体1回戦 ○ 東豊中
男女個人、女子団体 → 中央大会進出
・98年全国高校剣道大会大阪府中央大会
女子団体、男女個人 → 1回戦敗退
・7月定期戦 / 天王寺高校
男子団体 ○
女子団体 ○
※活動予定～合宿（8/13-17）、高校総体

【硬式野球部】「甲子園出場」のために日々厳しい練習に励んでいます。限られた時間、場所ですら練習できませんが一球に集中して目標に一歩でも近づきたいと思っています。
・97年選手権大会
2回戦 ○ 5-0 此花学院
3回戦 ○ 4-2 登美丘
4回戦 × 1-2 島上
・97年秋季大会
1回戦 ○ 13-4 阪南
2回戦 × 0-10 山田
・98年春季大会
1回戦 × 3-4 産大附
・定期戦
× 6-12 天王寺
○ 11-0 市岡

【サッカー部】われわれサッカー部は現在3年15人、2年17人、1年24人、マネージャー4人、計60人。もうすぐ始まる秋の選手権にむけて練習に励んでいます。
・98年新人戦
1回戦 ○ 11-0 大正
2回戦 ○ 2-0 鳳
3回戦 ○ 1-0 大和川
4回戦 × 1-2 北陽
・98年春季大会
3回戦 × 0-2 生野
・天王寺高校定期戦
現役戦 ○ 1-0
※創部50周年記念の天高戦は、鶴見緑地でOBの先輩方、吹奏楽部の人たちの多大な御協力で無事終えることができました。これからも一生懸命がんばりますので、ご声援よ

ろしくお願いします。

【山岳部】97年8月は豪雨の中、北アルプス槍ヶ岳から双六岳へ。10月は小浜から三宅八幡までの鯖街道75kmを完全踏破。3月は大峰山系において氷点下10℃以下の中で春山合宿。また今年8月は南アルプス北岳～塩見を予定しております。今後も暖かい御支援をお願い致します。
'97/8 インターハイ京都大会全国 3位
'97/9 大阪秋季大会 3位
'98/4 大阪春季大会 優勝
'98/8 インターハイ高知大会出場決定

【柔道部】現在、部員は2年生2人、1年生4人ですが、集中して稽古に励んでいます。稽古相手不足に悩まされていますので、先輩の皆さん、いつでも柔道場に胸を貸しに来て下さい。
・97年 関西公立柔道大会団体戦準優勝
・98年 インターハイ大阪府予選
地区大会 3回戦敗退
中央大会 1回戦敗退
・天王寺高校定期戦
点取り 4勝4敗1引き分け
勝ち抜き 3人残して負け

【水泳部】夏の限られたシーズンに中央・近畿・全国大会目指し、日々泳ぎに磨きをかけています。OBの方、練習を見に来て下さい。
[1997年]
・近畿大会
伊藤 100mBu 出場
・高校対抗
伊藤 100mBu 9位
200mBu 10位
・新人戦
男 400m混継 10位
200m継 9位
佐藤 100mBa 7位
伊藤 100mBu 10位
・大手前戦 1位
・市岡戦 2位
[1998年]
・中央大会
男 400m混継 10位
伊藤 100mBu 8位
・三校戦 2位

【ソフトボール部】1年5人、2年8人、マネージャー1人で毎日元気に練習しています。河川敷グラウンドで練習しているので、いつでも気軽に私たちのプレーを見に来て下さい。また試合にも、ぜひ応援に来て下さい。

・大阪総体 ○12-2 磯島
○4-2 西浦
・府立大会 ○12-9 箕面
×3-5 八尾南
・部別大会 2部準優勝
・第1学区大会 6勝0敗 優勝
・つくし杯 5勝0敗 優勝
・公立研修リーグ
一部 準優勝
・インターハイ予選
1回戦 ○6-1 山田
2回戦 ○6-3 福井
3回戦 ×1-6 門真
※創部50周年記念OB総会!
10月24日(土)13時 本校テニールーム
10時から河川敷グラウンドで親睦試合を予定。お一人でも多くの御出席をお待ちしております。ご連絡は北野高校顧問(鎌田)まで

【卓球部】卓球部は今年新1年生も入りましたが部員数も20数人というまだまだ人数の少ないクラブです。しかしOBさんが結構たくさん来てくれて練習も和やかな感じで行われています。ただ女子部員が現在2年生の1人だけなので特に女子部員を募集中です。
・高校選手権(98年5月)
団体 1回戦敗退
シングルス 3回戦敗退
ダブルス 4回戦敗退
・定期戦(天王寺)
4-1で勝利
※今後の活動予定
・7/31~8/4 合宿(高野山)
・8/11 北摂大会
・8/19~8/23 新人戦

【女子テニス部】2年生4人、1年9人、マネージャー2人で活動しています。校舎改築のためテニスコートがなくなっている現在は淀川の河川敷にあるコートで練習しています。練習環境は良いとは言えませんが、試合で少しでもよい成績が残せるように頑張っています。

・秋季赤坂杯
シングルス本戦
伊藤2回戦、上田1回戦
ダブルス本戦
上田・林
・夏季大阪オープンシングルス 伊藤 Best8
・春季総体シングルス
伊藤 本戦出場

【男子テニス部】校舎改築のため主に河川敷で活動しています。以前より練習時間が短くなってしまいましたが1人1人集中し更なる上達を目指して、日々練習に励んでいます。
・団体戦
秋季団体→本選出場
春季団体→Best16
・個人戦
大阪総体 シングルス
佐竹・富永→本選出場
大阪高校オープンシングルス
海老澤→Best16
大阪ジュニアシングルス
佐竹・海老澤
春季総体シングルス
佐藤→Best32
佐竹・富永→本選出場
春季総体ダブルス
佐竹・富永→本選出場
・赤坂杯(秋)ダブルス
佐竹・富永→本選出場
・赤坂杯(春)シングルス
佐藤→Best8

【女子バスケットボール部】3年生が引退し1年生が入部し、心機一転新チームで毎日練習に励んでいます。あきらめずの少人数ですが厳しく楽しくやっていますのでぜひ1度いらっしゃって下さい。
・新人戦 北地区
2回戦敗退
・定期戦 ○48-40 天王寺
・インターハイ予選→4回戦敗退
※今後の活動予定
・夏季合宿(7/21~24)
・大阪高校総体(8/12~)
・大阪北地区公立大会(10月頃)

【男子バスケットボール部】部員20人マネージャー3人、先生やOBの方々も熱心に指導して下さい、とても充実した練習をしています。

目標は高く、そして向上心を持ち、努力していきたいと思っています。
[1997年]
・公式戦
○74-67 金光第一
×58-70 桜塚
・公立戦
×66-97 豊中
×57-97 東淀川
○89-60 鳥飼
○96-54 高槻南
○59-40 東淀工
○88-73 吹田
[1998年]
・新人戦
×46-96 三島
・天高戦
×62-97 天王寺
・四高定期戦
×53-57 神戸
×76-77 灘
・公式戦
×61-76 高津

【バドミントン部】今年、1年男子が9人女子が7人入部して男女合計21人で活動しています。残念ながら放課後の体育館使用は未だ認められていませんが、それにめげずに頑張りたいと思っています。今年はクラブ全体のレベルが上がり、近畿大会も狙えるところまで来ています。OBの皆さん練習に来て下さい。
・97年夏 大阪総体
単2部 男子 結城 Best8
女子 笹瀬 準優勝
複2部 男子
伊藤・金子 準優勝
上北・喜安 第3位
・97年冬 大阪総体
単2部 男子 結城 Best8
・98年春の大会
単2部 朝田 優勝
結城 準優勝
複2部 結城・朝田 Best8
喜安・金子 Best8
女子団体 Best16

【女子バレーボール部】現在2年6人、1年7人、マネージャー1人で、ボールに対して真剣に忠実になって練習に励んでいます。今年の目標は1部に昇格することです。OB・OGの方、ぜひ練習に来て下さい。
・大阪高校総体

○2-0 摂津
×0-2 宣真
・大阪府立校大会
○2-0 茨木東
×0-2 東大阪
×0-2 高槻北
・秋期部別大会
×0-2 東海大仰星
×0-2 福井
×0-2 千里 (3部降格)
・春の高校バレー二次予選
×0-2 吹田東
・春期部別大会
○2-0 清水谷
○2-1 工芸
○2-0 港 (2部昇格)
・近畿大会予選
○2-0 泉南
×1-2 吹田
・天高戦
×0-2 天王寺

【男子バレーボール部】現在部員22人で毎日、部別優勝、近畿大会出場の目標に向けて練習に励んでいます。伝統のある北野高校バレー部として厳しいながらも、みんなと共に楽しく活動をしています。忙しいかも知れませんが、これからの僕たちのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。是非一度、練習に見にいらして下さい。
・府立高
×0-2 箕面
○2-0 池田北
○2-0 三島
・秋期部別
×0-2 履正社
○2-0 浪商
・春高バレー予選
○2-0 豊中
×0-2 日根野
・西田杯
×1-2 摂津
×0-2 島本
・春期部別
×0-2 関西創価
×0-2 山田
○2-0 浪商
・豊能大会
○2-0 池附
○2-0 豊中
×0-2 箕面
○2-0 箕面学園
○2-1 桜塚
×0-2 箕面
・近畿大会予選
○2-0 北千里

× 1-2 牧野
・天高戦
○ 2-1 天王寺

【女子ハンドボール部】私たちハンドボール部は1年生4人、2年生12人、マネージャー2人の18人で活動しています。近年、中央大会まであと1勝というところで惜敗が続いているので、今年こそはと全員一丸となり練習に励んでいます。必ず目標を実現させますので応援をお願いします。

・'97 夏季大会
○ 東豊中
× 箕面
・'97 秋季大会
○ 金蘭会
× 桜宮
・'98 春季大会
○ 東豊中
× 箕面
・'98 天高戦
× 現役戦
× 新人戦

【男子ハンドボール部】私たち男子ハンドボール部は、今まで少ない人数でがんばってきましたが今年は1年生がたくさん入ってくれて部もますます活気づいて来ている。練習もしっかりがんばって目標の中央大会での勝利を達成したいと思ってますので、応援よろしくお願いします。

・夏の大会予選
1回戦 × 15-16 東淀川
・秋の大会予選
1回戦 ○ 19-10 千里
2回戦 ○ 22-4 山田
準決勝 × 9-15 刀根山
3決戦 ○ 18-16 西野田工業
[中央大会]
1回戦 × 11-19 芥川
・春の大会
予選3位通過
[中央大会]
× 11-21 大商大堺

【ラグビー部】“花園出場”を実現させるため、限られた時間の中で皆気を引きしめて練習に励んでおります。まだまだ未熟な私たちですが、ご都合がよろしければ、是非河川敷まで足を運びください。

・定期戦
× 14-24 洛北
○ 31-12 神戸
× 21-47 天王寺
・第77回全国大会 大阪府予選(平成9年)
1回戦 ○ 43-0 鳳
2回戦 ○ 45-12 浪速
3回戦 × 11-24 四条畷
・近畿大会大阪府予選 新人戦(平成10年)
1回戦 ○ 38-7 科学技術
2回戦 ○ 114-0 豊中
準々決勝 × 28-29 大阪朝高
・大阪総合体育大会(春季大会)
1回戦 ○ 61-14 高槻北
2回戦 ○ 41-14 鳳
準々決勝 × 7-81 大阪工大

【陸上競技部】現在陸上部は3年生19名、2年生15名、1年生15名、マネージャー1名の計50名で活動しています。校舎改築に伴い、思い出深いグラウンドは使えなくなりましたが、淀川河川敷の新グラウンドで日々全国大会を目標に頑張っています。これからも努力しますので温かい御支援よろしくお願いします。

・第10回大阪高校女子駅伝競走大会(空増, 広田, 荒木, 吉田, 山口)→29位
・平成10年度大阪インターハイ 男子4×400mR(中西, 堀内, 室田, 高橋)→第9位(3'23"43...北野新)
・男子400m準決勝進出(堀内)

.....文化部(50音順)

【ESS部】わたしたちは原則週1回、外国人の先生を囲んで、会話練習を中心に活動しています。レベルのことを考え、学年別に集まる日と、部員全員が集まる日を設け、以前より効率よく活動できるようになりました。これまでスピーチコンテストへの参加、文化祭でのビデオ制作・上映などを行いました。今後は、夏休み中の各種セミナー参加、9月から来られる新しい先生の歓迎会なども含め、今まで以上に積極的に活動していく予定です。

【囲碁・将棋部】

・第22回全国高校囲碁選手権大阪府大会において、団体戦優勝、さらに個人戦第2位。
・7月に行われる全国大会に出場。
・8月に行われる第22回全国高等学校芸術文化連盟総合文化祭の囲碁部門個人戦の部に船橋君(2年)が選ばれました。
※以上の実績を見れば、さぞかし力のある部だと思ってしまうのですが、ほとんどが船橋君(2年)の活躍によるもの。このことは学校側も心得ており、部室すら買えない状況です。

【オーケストラ部】現在、部員32名で毎日活動しています。文化祭においての定期演奏会ではドヴォルザーク交響曲8番を演奏し、たくさんの方々に来て頂きました。目下、11月にある校内音楽フェスティバルに向けて、ベートーヴェンのエグモント序曲を練習しています。

※今後の活動予定
・校内音楽フェスティバル('98/11/21)
・第16回第一ブロック音楽会('98/12)
・扇町教会での音楽礼拝('99/1)
・大阪府高等学校音楽会('99/2)
・楽友会[OBの方々との演奏会]('99/3)
・交流会[大阪府下の管弦楽、弦楽部による演奏会]('99/3)

【化学研究部】現在、化研の部員は3年生2人、2年生が4人の計6人です。1年生が入部しなかったのが、来年度が心配ですが、文化祭は今年と同じように演示実験をする予定です。今年の文化祭は、昨年と同じく液体窒素でバラを凍らせたり、シャボン玉を燃やしたり、その他にマドラーをガラス管で作ったりしました。ぜひ来年の文化祭は見てください。

【コーラス部】現在、コーラス部は3年生が引退して、2年生9名、1年生1名で活動しております。今は、8月16日に行われる「北野高校コーラス部フェスティバル'98」に向けて熱心に練習しております。混声合唱の灯を絶やさないためにも男声部員を募集しています。昨年度8月以降の主な活動は次の通りです。

10月 第一ブロック音楽会
11月 音楽フェスティバル
2月 芸術文化祭
4月 新入生歓迎演奏会
6月 文化祭

【写真部】われわれ写真部では、今年が校舎の建て替えということで数年前から始めている「北野の風景」の保存を目的とした活動をより積極的に行い、これから工事現場なども撮影していく予定です。文化祭では、六稜同窓会の方々と「北野の風景」の写真の展示を行い、大変好評でした。また、日本写真映像専門学校が開催する講習会に参加して、他校と交流し技術を身につけます。今は部員は男子1人女子2人の3人と少数ですが、これから頑張っていく予定です。

【吹奏楽部】校舎建て替えのため、旧図書館が取り壊され、現在は主に講堂を中心に色々な場所をさまよいつつ、活動しています。

・第36回全日本吹奏楽コンクール 北地区大会 優秀賞('97/7)
・第15回第一ブロック音楽祭('97/11)
・第24回アンサンブルコンテスト('98/1) 金管8重奏 銀賞、打楽器5重奏 金賞
・第19回芸術文化祭('98/2)
※これからの活動予定
・第37回全日本吹奏楽コンクール 北地区大会('98/7)
・第1学区音楽会('98/12)、ほか

【生物研究部】わたしたち生物研究部が最近行っている活動は、プロトプラストの作製やイカの発光バクテ

リア、そしてアサガオの短日処理などの実験です。昨年の大阪府生徒生物研究発表会では『クマゼミの羽化観察と抜け殻調査』と『プロトプラスト』をやりました。これからの活動予定は、夏季合宿、組織培養・細胞融合、アサガオの短日処理実験、淀川の冬期水鳥調査などです。

【美術部】美術部では8月末の高校展にむけて活動中です。少人数ですが、大きな油絵や立体など、それぞれ一生懸命作品作りにとりくんでいく予定です。最近、顧問の先生の提案でクロッキーなんぞ始めてみました。しかし先生自身も「忘れてたわ～」という代物なので今後どうなるかは

不明。それを存続させる為にも、これからの己の発展の為にも、美術部一同……頑張つてゆく次第であります！！汗にも負ケズ、渴きにも負ケズ、日夜アヤシイもん創りに精を出す、美術部員に幸あれ！！

【放送部】7月現在わが放送部(KBC)は2年生7人と新入部員の1年生5人の昨年と同じ人数で頑張っています。月曜日から金曜日の昼休みに30分間やっている校内放送をメインに、水泳大会や体育大会などの学校行事のアナウンスや機材管理、またFM局への学校紹介の出演など、幅広い活動をしています。今年も昨年に引き続いて、文化祭では

食堂前で「昼放拡大Long Version」をやりました。これからも様々な経験を積み重ねつつ、今までに負けないくらいに活気のある部をめざしていく心算です。

【漫画研究同好会】現在、漫画研究同好会は会員数の減少により非常にピンチな状態になっています。しかし、何とかが夏休み中(8月18～20日)に行われる連合漫画祭には参加できそうな気配。今はそれに向けて、各自イラストボードの制作にはげんでいます。これから予定としては、秋から冬にかけてもう1冊会誌を出したいところです。

●編集後記

六稜同窓会ホームページ(通称「六稜Web」)開設より1年。広報活動の変革を本誌上で見ていただくのはこの号が初めてになる。Webという媒体を得て広報の可能性は大きく広がった。ただ、誰もが見られるという段階にはまだ至っていない。CD-ROMや小冊子の作成、総会での公開などWebに触れる機会を多くと心がけているが、新しい同窓会館ではいつでも気軽に楽しんでもらえるようにしたい(今も事務局ではご覧いただける)。

一方で会報の年2回発行も実現したいが25,000通の送料倍増は現在の予算規模では殆ど無理。しかし会員との接点が増えるほど年会費の増加、同窓会活動の活発化が可能になると信じて模索中。(編)

■大学合格者数一覧 (H10.4.16現在)

国立	男	女	計	九州大学	3	1	4	大阪医科大学	3	3	6
北海道大学	7	2	9	鹿児島大学	2	1	3	大阪学院大学	4	1	5
東北大学	3	1	4	琉球大学	1	0	1	大阪経済大学	2	3	5
筑波大学	4	0	4	合計	178	89	267	関西大学	48	41	89
千葉大学	1	2	3					近畿大学	12	9	21
お茶の水女子大学	0	1	1	公立	男	女	計	関西学院大学	43	50	93
電気通信大学	1	0	1	札幌医科大学	1	0	1	甲南大学	8	5	13
東京大学	3	0	3	福島県立医科大学	0	1	1	その他(5名未満の大学)	27	63	90
東京学芸大学	2	0	2	東京都立大学	1	0	1	合計	354	254	608
東京工業大学	2	0	2	岐阜薬科大学	0	1	1				
一橋大学	0	1	1	滋賀県立大学	1	0	1	短大	男	女	計
横浜国立大学	1	0	1	京都府立大学	0	2	2	京都大医療技術短	0	2	2
金沢大学	1	0	1	京都府立医科大学	1	0	1	京都市立看護短	0	1	1
信州大学	1	1	2	大阪女子大学	0	2	2	京府医大医療技術短	0	1	1
静岡大学	1	0	1	大阪市立大学	13	8	21	大府看大医療技術短	0	1	1
名古屋大学	2	0	2	大阪府立大学	18	4	22	大阪市立大学看護短	0	1	1
三重大学	1	1	2	大阪府立看護大学	0	2	2	大阪府立看護短	0	1	1
滋賀医科大学	0	1	1	神戸市外国語大学	0	1	1	武庫川女子大短	0	1	1
京都大学	62	12	74	神戸市看護大学	0	1	1	合計	0	8	8
京都教育大学	0	1	1	神戸商科大学	0	1	1				
京都工芸繊維大学	4	2	6	姫路工業大学	2	0	2	準大学等	男	女	計
大阪大学	32	21	53	兵庫県立看護大学	0	1	1	防衛医科大学校	1	0	1
大阪外国語大学	0	4	4	九州歯科大学	1	0	1	防衛大学校	4	0	4
大阪教育大学	2	2	4	福岡県立大学	0	1	1	合計	5	0	5
神戸大学	31	24	55	合計	38	25	63				
奈良女子大学	0	4	4	私立	男	女	計	専修学校等	男	女	計
和歌山大学	3	2	5	慶応義塾大学	18	2	20	大阪医大附看護専門	0	1	1
鳥取大学	1	1	2	津田塾大学	0	6	6	大阪市立看護専門	0	1	1
岡山大学	2	0	2	東京理科大学	14	1	15	大阪スクールオブミュージック	0	1	1
広島大学	3	1	4	早稲田大学	34	5	39	刀根山病院附看護専	0	1	1
徳島大学	0	1	1	京都薬科大学	2	9	11	ヤマハ音楽院大阪	0	1	1
香川大学	0	1	1	同志社大学	74	23	97	合計	0	5	5
香川医科大学	1	0	1	立命館大学	58	29	87				
愛媛大学	1	0	1	龍谷大学	7	4	11				
高知大学	0	1	1								

六稜同窓会125周年総会 開催のご案内

六稜同窓会総会は同窓会員全員に参加資格があり、六稜同窓会の今後の活動方針や予算を承認する最高決定機関です。創立125周年にあたる今回はわが国を代表する俳優森繁久彌さん(44-45期)をお迎えして、OBP(大阪ビジネスパーク)のホテルニューオータニで開催いたします。新制高校50周年の幹事役を務めるのは「今年50歳を迎える」79期。特製バッジや名簿、CD-ROM等…希少な記念品の頒布も準備しております。是非、皆様…同期のご友人をお誘いあわせのうえ、ご参加ください!!

日時 1998年10月25日(日)

受付開始 12:30

開会 13:00

会場 ホテルニューオータニ大阪 (2F)
「翠鳳の間」

大阪市中央区城見1-4-1 (Tel.06-941-1111)

※地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅
または、JR環状線「大阪城公園」駅下車、徒歩3分

会費 7,000円

※ただし、106期(H6卒)以降(卒業5年以内)と
54期(S16年卒)以前の方は無料



MORISHIGE Hisaya

六稜イエローページ

※これらのアドレスは予告なく変更されることがあります。
六稜関連の催し物の情報提供は…

info@rikuryo.or.jp

六稜WEBへのご意見、ご感想は…

voice@rikuryo.or.jp

六稜WEBとのリンクをご希望の方は…

link@rikuryo.or.jp

六稜WEBに関する技術的なご質問は…

tech@rikuryo.or.jp

六稜WEBの著作権に関するご質問は…

kenri@rikuryo.or.jp

その他、六稜WEBへの苦情・ご要望等は…

webmaster@rikuryo.or.jp

WEB運営委員会(委員長へのご意見は…

iinkai@rikuryo.or.jp

同窓会事務局へのお問い合わせは…

office@rikuryo.or.jp

東京六稜会へのお問い合わせは…

tokyo@rikuryo.or.jp

六稜MLに関するご質問、お問い合わせは…

MLsupport@rikuryo.or.jp

住所・勤務先・氏名等の変更通知は…

meibo@rikuryo.or.jp

同窓会名簿に関するお問い合わせは…

meibo@rikuryo.or.jp

六稜Museumに関するお問い合わせは…

museum@rikuryo.or.jp

校舎改築に関するお問い合わせは…

kaichiku@rikuryo.or.jp

定点観測隊への励ましのメールは…

kaichiku@rikuryo.or.jp

六稜会報
No.32

発行日 平成10年9月15日
発行者 稲畑勝雄
編集委員 岸田知子・鎌田俊一
寺井あかね・谷 卓司

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
phone 06-306-0374(代) fax 06-306-1335
e-mail office@rikuryo.or.jp
郵便振替 00990-4-68025 (名簿申込専用 00910-7-3090041)
事務局 月 金(祝日は休) 10:00~17:00 北野高校 第2新館2F

デザイン 有限会社ティアンドティ デザインラボ
<http://www.ttdesign.co.jp/>
〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-4 調屋ビル3F
phone 06-882-0512 fax 06-242-0811
印刷 フジエフォート印刷
〒579-8031 東大阪市東豊浦町4-25
phone 0729-87-8254 fax 0729-86-1165

六稜の仲間に逢いたい。

文化勲章を胸に…

森 繁 久 彌 さん

を囲んで、母校125年の祝賀。

北野高校創立125周年【記念出版物】

Now
Printing!

●六稜同窓会名簿'98

※同封の郵便振替用紙でお申し込みください。

【予約特価】

¥4,000 (9月30日消印有効)

※通常価格(10月以降) ¥5,000

Now
Printing!

●記念CD-ROM『六稜WEB'98』 ブックレットつき

【頒価】

¥1,500 ※同封の郵便振替用紙でお申し込みください。

Now
Molding

●記念特製バッジ

【頒価】

¥1,000 ※総会会場でしか入手できません。

購読(subscribe)しませんか? 六稜のメーリングリスト

■六稜ML

(rikuryo@iijnet.or.jp)

今年3月に産声をあげた六稜MLは、参加者数が約170名になりました。現在までに流れたメール総数が約470通。医学の話題から環境問題、海外出張時のアドバイスまで…楽しくやっています。参加ご希望の方は下記の要領をご覧ください。

<http://www.rikuryo.or.jp/info/salon.html>

■六稜WEB-ML

(rikuryoweb@iijnet.or.jp)

六稜WEB運営委の連絡用ML。非常に盛んで流量が50通/日に達すること…。現在の登録者は65名で運営委員になると自動的に登録される。「目を通すこと」以外に義務の強要はないが、各人の自発的意志と自由になる時間との兼ね合いの中で「六稜WEB」の運営に参画できるのが望ましい。詳細は下記にて。

<http://www.rikuryo.or.jp/info/collab.html>

■六稜WEB通信

月に1回、六稜WEBの更新内容をお知らせする電子新聞です。MLではないので発言はできません。お申し込みは下記の要領をご覧ください。

<http://www.rikuryo.or.jp/info/push.html>